

協同食品は昭和37年に創業し、香川県唯一の日本ハムグループの工場として、ハムソーセージの製造販売と牛豚肉の処理販売を行っております。ハムソーセージ工場では、シャウエッセンなどの主力製品約80種の製造を行い、牛豚肉は香川県産のみならず県外からも生体集荷を行い各

地域における特産のブランド肉（オリーブ牛・オリーブ豚など）を販売しております。当社のこだわりは「品質」。全国でも高い評価をいただいております。日本ハム創業者の大叔創業者が地元香川の畜産業発展のために設立した企業として「地域になくてはならない企業」を目指しています。香川県の新たな「美味しい！」を作るべく、新しい取り組みを進めています。

弊社の安全衛生活動についてですが、労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、安全パトロール、ヒヤリハット活動を軸にリスク低減活動を行っています。また、グループ内で発生した他工場の災害や事例を水平展開するなどの活動も行っています。労働衛生活動では、グループ内の相談窓口の活用などのメンタルヘルス対策を行っています。安全衛生活動を推進していると、どんなに良い活動を提案しても、管理監督者が本気になって活動

を実践しなければ「仏を作って魂入れず」になってしまうと感ずることがあります。

私が安全衛生の担当になった時に、教えていただいたエピソードをご紹介します。ある従業員1000人の工場で死亡災害が発生しました。すぐに会社の代表者が家族に謝罪にきました。その時、被災者の奥様が「会社にとって夫は1000人のうちの一人でしょう。私にはあの人しかいなかったのです。」と話したそうです。

皆様にとってかけがえのない人を思い浮かべてください。

- 自分の職場は、家族や大切な人が安心して働けますか？
- この機械は、危ないから手を入れちゃだめだよと注意しなければならない箇所はありませんか？

従業員ひとりひとりがかけがえのない仲間（家族）です。

かけがえのない人を思い浮かべて安全活動を推進していきましょう！

「365日ご安全に！」